

設備投資で元気印!! 活用事例 100選

～小規模企業設備資金制度を利用して～



(財) 全国中小企業設備貸与機関協会

潤いのある環境づくり

庭石（伊達石） / 丸興産業（株）



代表者	小野寺 靖
所在地	宮城県桃生郡河南町鹿又字欠山51
資本金	3,000万円
従業員	18名
業種	砕石業
主要製品	一般土木工事業、庭石・砂利販売等
応対者	代表取締役 小野寺 靖 氏

御社の事業内容と経営理念をお聞かせ下さい。

当社は、昭和47年に創業し今年で30周年を迎えます。

砕石業としてスタートし15年程前から、その主業に加えて一般土木工事業・川砂・山砂・化粧玉砂利販売・運輸業・庭石（伊達石）販売・港湾荷役業・除雪処理工事業を手掛けて現在に至っております。

なお、庭石についてはゴルフ場をはじめ、ホテル・河川敷護岸工事・一般家庭等、幅広くご利用いただいております。

【経営理念】

1. 「努力する者だけが一流になれる」
2. 「変化に対応し進化していく者だけが生き残っていける」
3. 「計画・実行・反省を繰り返す者だけが成長発展を遂げていく」

制度を知ったきっかけ及び利用に至った動機は何ですか？

当社では創業して間もなく「設備近代化資金制度」を知りました。それ以降、度々この制度を利用しております。

昨年も制度利用を考えて県の産業振興事務所にて相談に向いたところ、窓口の担当者から本制度を取り扱う機関が「みやぎ産業振興機構」になったという話を聞きました。

県が中小企業の支援と育成を目的に設立した「みやぎ産業振興機構」というものの存在を知ったのは、その時が初めてでした。

担当する機関が変わったということなので制度の内容も様変わりしているのではと思いながら早速、機構に制度の利用について問い合わせたところ、償還期間が従来の5年から7年に延長したという話を聞くことが出来、この制度が一層魅力あるものになったことを感じました。



銀行等の融資やリース会社等と比較しての本制度の評価と制度を利用してみて経営上役立ちましたか？

銀行やリース会社と比較して当設備資金貸付制度の利点は、資金融資を受けてから1年間の支払据置期間があり、償還期間も7年と長く、しかも無利子で資金を貸付して頂ける点が何よりも有り難いところです。

これまでの経験から、機械（重機）を購入してから7～8年以降に修理代が少しずつ嵩んできており、それまでに支払いを完済させてしまうことと、それから更に7～8年間使用に耐えうるかが経営計画の上で肝心なように思えることです。

また、借入にあたり亡くなった実父から教わったことですが、何事も隠さずにありのままを担当者の方々に話しすることが大切だと思います。

立場を逆に考えてみれば嘘を平気でつく人間に誰も愛情と信頼を寄せて資金援助はしないものです。

事業内容を開示し、目標と計画を明示することが大切ではないでしょうか。

制度や実施機関である貸与機関に対して今後望むことはありますか？

無利子で貸し付けて頂けることや1年間の据置期間があることは非常に有り難いことです

が、欲に切りはないものの願わくば、貸付比率の1/2について、金額や業績内容によって緩和していただければ、更に利用しやすくなると思います。

御社の今後の展望・抱負についてお聞かせ下さい。

公共工事の削減、入札制度の抜本的見直し、前代未聞の低金利政策にも拘わらず随分ない投資家たち、値下がりを続ける土地とそれに正比例する資産価値と担保能力の低下、進まない銀行の不良債権処理など、いずれをとっても建設業界を取り巻く環境は厳しい状況にあり、益々厳しい経営環境が予測されています。

そのため、より一層の生産効率の向上や時代の流れを考え、急速に増加している産業廃棄物の市場に目を向けることとし、当社は、コンクリート・アスファルト等のリサイクル事業（再生路盤材・RC-40）に取り組む計画をたてました。

地元の競合状況から廃材受入のスペース（東京ドーム約3個分）が十分あることと、砕石混入により品質を高められることなどの利点を我社は有しており今後の収益の向上等を図っていくものです。

平成14年11月には「産業廃棄物収集運搬業務」を、また、平成15年3月を目標に「産業廃棄物中間処理業務」に新規参入予定です。

【制度利用について】

利用回数	貸付 5 回
初回利用	平成 1 年度
直近利用	平成 13 年度
導入設備	油圧ショベル、重機類